

池上彰著「学び続ける力」講談社現代新書、講談社、2013 年 1 月 20 日刊を読む

読書と思索

1. 読書がなければ教養は身につかないけれども、読書しただけで教養が身につくわけではない。
2. 深く感動した本や、自分にとって意味があると思った本については、次の本にすぐに行かないで、しばらく余韻(よいん)に浸るということが大事なのです。その後で、著者は、何が言いたいのか、そこから自分は何を得ることがあるのかと考える時間を持たなければいけないのです。
3. このように、読むことと思索することのバランスは大事だと、最近とみに思うようになりました。
4. 読んだらそこで終わらない。そこからが自分なりの思索の領域になるのです。

P150 ~ 154

[コメント]

2012 年 4 月から東京工業大学リベラルアーツセンターの教授になった元 NHK「週刊こどもニュース」のキャスター池上彰先生の読書論。池上先生は、東工大の教授になって一段と著作の量を増やしたが、大学生だけでなく小学校高学年から高校生も読めばわかる内容ばかりなので、池上先生の全著作を何回も読み、大学に進学してほしい。

— 2013 年 5 月 1 日 林 明夫記 —